

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 6月19日更新

事務事業名		工業用水道事業経営事務				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	水道局	課長名	澤田 修一
	施策	28	企業誘致の促進と働く場の確保			所属課	水道課	担当者名	吉山 和宏
	施策の柱	74	企業誘致の促進			所属班	水道班	(内線)	5246
予算科目		会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	地方公営企業法	
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本県が平成8年度から造成を開始したセミコンテクノパーク（合志市及び菊陽町にまたがる区域：当時は第2テクノパーク）内のインフラ整備として、工業用水道の建設も8年度から始まり、平成10年4月に一部給水開始、12年度に区域全体へ給水し、18年度には菊陽町が造成した原水工業団地への整備も図られている。 平成9年度から、地方公営企業法の適用を受け、工業用水道事業会計として運営及び経理を行なう事務である。 給水収益のほかに不足する経費については、合志市及び菊陽町の双方からの費用負担を受けて経営しており、平成9年度は、建設事業のみであったが、10年度に1社給水を開始し、その後給水事業所が増え、平成30年度末時点では7社に工業用水を給水している。 ※H29年度より工業用水道事業のMSシートを一本化したことに伴い各指標や総事業費等を変更した。
【業務の流れ】	・工業用水道料金の決定・納付書発送・調定水量の報告（菊陽町へ） ・工業用水道事業会計における調定・支払事務 ・企業職員に対する給料及び各種手当に支給に関し支給事務処理を行う ・日本工業用水協会、公営工業用水道事業九州ブロック連絡協議会に負担金を払い、各種研修会等へ参加 ・会計規程及び法令に基づき、日次・月次・年次の帳簿及び財務諸表の作成 ・毎事業年度終了後、2ヵ月以内に決算を調整し、市長（財政課）へ提出 ・一般会計予算の編成方針・要領等を踏まえ、工業用水道事業会計の次年度予算を作成 ・必要に応じて予算の補正
【主な予算費目】	(款)1.工業用水道事業費用(項)1.営業費用(目)3.総務費(水道関係以外) (款)1.工業用水道事業費用(項)1.営業費用(目)4.減価償却費 (款)1.工業用水道事業費用(項)2.営業外費用 (款)1.工業用水道事業費用(項)4.予備費
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
○工業用水道料金の決定、納入通知書送付及び料金収納処理、日々の支払事務、日次・月次報告、財務諸表作成、監査の受検を行った。 ○菊陽町下水道使用料算定のための調定水量情報の提供を行った。 ○予算編成、予算執行状況の把握及び管理、決算書の調整を行った。 ○各種負担金(日本工業用水協会、セミコンテクノパーク関連など)の支払・請求事務を行った。		前年度に同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 工業用水道料金・量水器使用料調定額(H29年度より)	千円	固定資産減価償却費の増による
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
工業用水道使用事業所		→ ア 工業用水道使用事業所数(H29年度より)
		件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
① 対象の工業用水道料金が正確な料金となっている。		→ ア 収納率(H29年度より)
② 対象より確実に料金を徴収する。		%
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
工業用水道事業は各事業者の生産活動に欠かせない「工業用水」を常に安定して供給し、料金を納入していただくことで成り立っている。したがって、確実に料金の徴収がなされなければ工業用水道事業の運営に支障をきたす恐れも生じてくる。現在収納率は100%を保っているが今後もこれを維持する必要があるため目標値を100%とした。		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
① 活動指標	ア イ	千円	42,778	44,242	44,923	45,289	45,000	45,000	45,000	45,000	
② 対象指標	ア イ	件	7	7	7	7	7	7	7	7	
③ 成果指標	ア イ	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円		25,478	23,286	22,347	25,000	25,000	25,000	
		繰入金	千円								
		一般財源	千円								
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	0	25,478	23,286	22,347	25,000	25,000	25,000	25,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	6,807	9,116	9,025	9,000	9,000	9,000	9,000
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	3	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	835	600	600	450	600	600	600	600
		(B)人件費計	千円	3,303	2,365	3,984	1,783	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,303	27,843	27,270	24,130	25,000	25,000	25,000	25,000	

事務事業名	工業用水道事業経営事務	所属部	水道局	所属課	水道課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度的事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 収納状況は100%が続いているが、企業の経営は景気に左右されるため、収納督促等の働きかけを強化することで、目標を達成する見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 100%の収納率を継続することを成果としており、向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 専門的な事務であり、類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 合志市及び菊陽町からの負担を受け、常に最少の事業費で取り組んでおり、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人員で、他の事務との兼務で当たっており、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 区域（セミコンテクノパーク）内の立地企業すべてに受益機会があり、負担も平等であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 現段階では行政の役割は適正で見直しの余地はないが、将来的に、事業の運営及び経営主体の見直しを検討する可能性はある。

3 評価結果の総括（CHECK）

工業用水道事業の経営に係る工業用水道料金の収納率100%という目標は達成できた。但し、企業の経営は景気に左右されるため、収納督促等の働きかけを強化することで、今後もこれを継続していく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												